



段丘

平成26年3月4日発行

100号(本年度13号)

昭和東小学校 〒379-1203 群馬県利根郡昭和村糸井1287
電話 (0278) 22-2516 F A X (0278) 22-7288
メール kir013453@kagoya.net
Web ページ http://kir013453.kir.jp/

通学路の除雪 ありがとうございます

2月14日から15日にかけての大雪のため、17日(月)と18日(火)の2日間を村内小中学校4校が臨時休業日としました。16日(日)には、村教育委員会へ通学路の確保をお願いしましたが、幹線道路の確保を第一とするために通学路までは手が届かないとのことでした。そのため、保護者の方々に急遽近辺の除雪をお願いしました。急なお願いにもかかわらず、多くの方々にご協力をいただき、本校学区においては、17日中には大方の通学路を確保できるまでになりました。厚くお礼申し上げます。結局、2日間の臨時休業となりましたが、登校を再開した19日には、子どもたちは早速校庭に出て、友達と再会できた喜びを爆発されるかのように元気に遊んでいました。



登校し校庭で元気に遊ぶ子どもたち

レジェンド 葛西選手に学ぶ

— 挑戦、そして 克服 —

～3月3日の朝礼から～

ソチ冬季オリンピックが終わり、日本人選手の活躍から多くのことを学ぶことができました。開催前の朝礼では、高梨沙羅選手についてお話ししましたが、高梨選手は残念な結果になりました。しかし、高梨選手は、帰国後、すぐに次の目標「W杯総合2連覇」に向けて始動しました。そして、見事「W杯総合2連覇」を成し遂げました。

さて、今日は、今や流行語にもなっているレジェンドと呼ばれている葛西紀明選手について、お話ししたいと思います。葛西選手は、冬季オリンピックに7回出場し、今回41歳にして銀メダルを獲得して最年長メダリストとなったことから、レジェンド(伝説)と呼ばれています。私は、葛西選手がレジェンドと呼ばれるようになったのには、2つの出来事が大きく影響しているのではないかと思います。一つ目は、葛西選手が15歳の時の出来事です。葛西選手が中学校3年生の時に、日本を代表するジャンプ大会である「宮様スキー大会」のテストジャンパーに指名されたのです。普通の中学生なら怖じ気づいてしまうところですが、葛西選手はこれに果敢に挑み、なんとその大会で優勝した東選手より遠くまで飛んだのです。この思い切って挑戦する強い気持ち、それによって得られた自信がその後の葛西選手のジャンプ競技に繋がっていったのではないのでしょうか。チャンスは自らの手でつかみ取るのです。

二つ目は、長野冬季オリンピックでの出来事です。この長野オリンピックで日本はジャンプ団体戦で金メダルを獲得しました。しかし、この団体戦のメンバーに葛西選手はいなかったのです。19歳の時からオリンピックに出場している葛西選手にとっては3度目のオリンピックで、場慣れもし、しかも地元国日本での開催です。人一倍気合いが入っていたことと思います。個人戦には出場しましたが、団体戦からは外されたのです。ちょうどこの時、怪我をしていたということもあったのですが、葛西選

手が団体戦のメンバーから外されたのは安定感に欠けるという理由だったそうです。団体戦では、一人の失敗がチーム全体の成績を大きく左右します。葛西選手は悔しかったと思います。オリンピックに2度の出場経験があり、自信もあるのに団体戦メンバーから外され、しかもその団体戦で金メダルを獲得した。この経験から、葛西選手はいつか自分も金メダルを取るんだとその後、41歳になるまで4回のオリンピックに出場しているのです。そして、今では最もジャンプの姿勢が美しく、安定感のあるジャンパーの一人と言われるようになりました。葛西選手は見事に自分の欠点を克服したのです。自分の欠点を克服し安定感のあるジャンプができるようになったからこそ、41歳にしてオリンピックのメダリストになれたのです。

葛西選手は、与えられたチャンスに怯まず挑戦する強い心と、自分の欠点を克服していく粘り強さの大切さを私たちに教えてくれたのです。チャンスはどこにあるかわかりません。チャンスは果敢に挑戦し、欠点はねばり強く克服していきましょう。

《校長室の窓から》

◇本校では、本年度のめざす児童像と生活のめあてをめざそう3つ（笑顔であいさつができる子 目をみて話を聞ける子 最後までやりぬく子）、まもろう3つ（「ハイ！」の返事 くつ・スリッパを揃える 5分前行動）、プラス1（清掃と片付け）として取り組んできました。6年生が中心となって、集会委員会をはじめとする児童会の委員会が率先して取り組んでくれました。朝礼では、チャイムが鳴るときには全員が整列を完了され、あいさつの後はすぐに聞く態勢がとられます。全員の目が私（笛田）に注がれているのが感じられます。読み聞かせに来られる村民の方からもお褒めの言葉をいただいています。又、トイレのスリッパもいつも揃えられています。子どもたちは、着実に成長を遂げています。嬉しい限りです。



児童の活躍

《おのちゅうこうふるさと文学賞》

優秀賞（詩の部） 高橋 駿 「花火の力」



3月の主な学校行事



日 時	行 事 名	場 所	内 容
3月4日 10:40~12:20	6年生を送る会	体育館	1~5年生がお世話になった6年生に感謝の気持ちを表す児童会活動です
3月12日 5・6校時	菜の花館訪問	菜の花館	4年生が総合的な学習（福祉）の一環として、入館者との交流を深めます
3月18日	算数コンテスト	各教室	3学期の朝学習でやった問題から50問主題します
3月18日 11:50~13:00	6年バイキング給食	家庭科室	給食センターからの卒業おめでとう給食です
3月25日 9:55~11:30	卒業式	体育館	本校卒業生は総計3,940名になります 給食なし、在校生集団下校 11:50
3月26日 3校時	修了式	体育館	給食あり、集団下校 13:50 ※平成26年度始業式・入学式 4月7日

東小スローガン

「笑顔であいさついっぱい東小」